



MAP548

IXIL ラシッサ

上吊引戸/可動間仕切り引戸上吊方式(片引戸標準・引違い戸2枚建) 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



●吊車はレバーが下がるまで入れてください。本体が脱落しケガをするおそれがあります。



保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開閉時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉不良の原因になるので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープを表面シートに貼ると、剥がす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置きでの長期保管はソリ・ねじれの原因になるので、寝かせた状態にしてください。
- 損傷防止のため、本体は建築工事完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

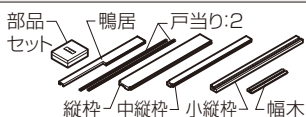
※1 枠はロックダウン、本体は完成品 ※2 別売品

片引戸用本体※1



1枚梱包

片引戸用枠※1



片引戸用床見切り※2



片引戸用ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)※2

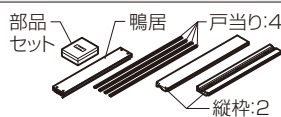
横(長:1、短:1)
縦:4

引違い戸用本体※1



1枚梱包×2

引違い戸用枠※1



引違い戸用床見切り※2



引違い戸用ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)※2

横:2
縦:4

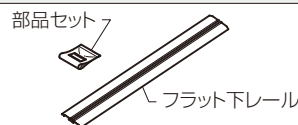
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	吊車を枠組立て時にレールに正しい向きで入れましたか？	☐
2	枠取付け後に全ての受け金具を緩みなく正しいねじで固定しましたか？ (ソフトモーション仕様のみ)	☐
3	吊車を最後(レバーが下がる)まで押し込みましたか？	☐

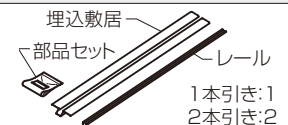


このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

フラット下レール※2



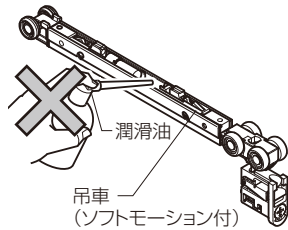
埋込敷居※2

1本引き:1
2本引き:2

3 枠の組立て(吊車の挿入)

枠組立て上をお願い

- 製品脱落・枠の垂下がり・ゆがみの原因になるので同梱のねじを使用してください。
- 本体吊込みができなくなるので、枠組立て前に吊車をレールに挿入してください。
- 作動不良になるので、下記事項をお守りください。
 - ・吊車(ソフトモーション付)は、正しい向きに入れてください。
 - ・吊車に潤滑油などを塗布しないでください。



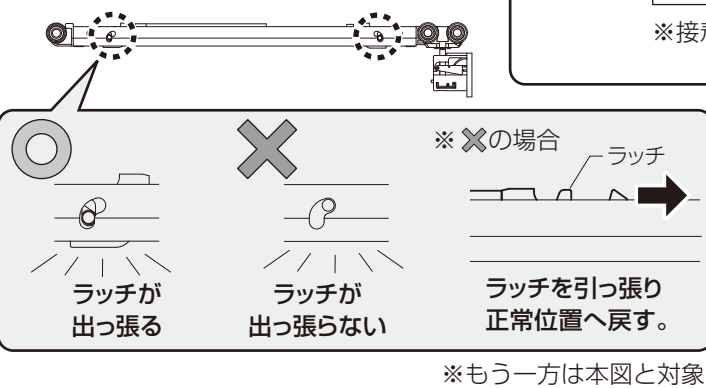
- 鴨居レールに吊車を指定の向きに挿入してください。

■枠部品明細

名称		ソフトモーション仕様		ブレーキ仕様	
		片引戸	引違い戸	片引戸	引違い戸
組立て用 皿小ねじM4×50		4	4	4	4
縦枠取付け用 DNねじφ3.8×50		6	6	6	6
鴨居取付け用 トラスタッピンねじ4×50				7	8
鴨居・受け金具取付け用 低頭2条ねじφ4×50		12	18		
ガイドピンセット (ねじ同梱)		1	2	1	2
吊車 (ソフトモーション付)		1	2		
吊車		1	2	2	4
ソフトモーション 受け金具		2	4		
穴埋めシールシート (NC95、115のみ)		1	1	1	1

※接着剤、かくし釘は現場手配。

●吊車の挿入前確認(ソフトモーション付)

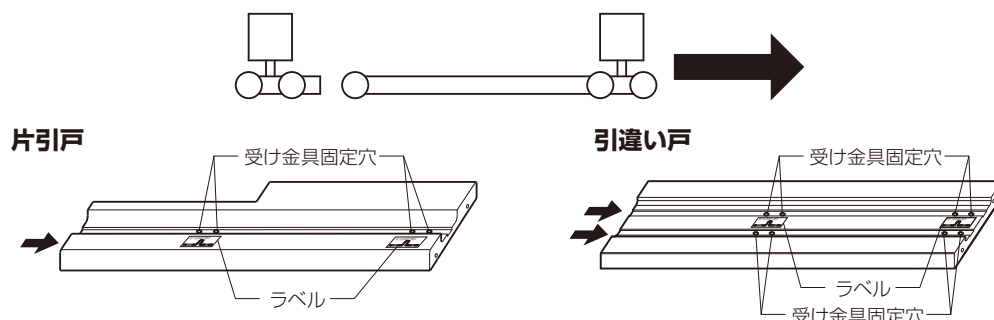


ソフトモーション仕様 吊車

ブレーキ仕様吊車

※図は片引戸L勝手

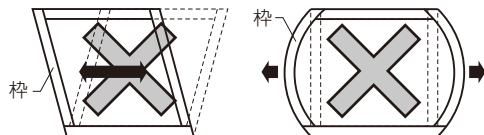
●ソフトモーション仕様 吊車挿入向き



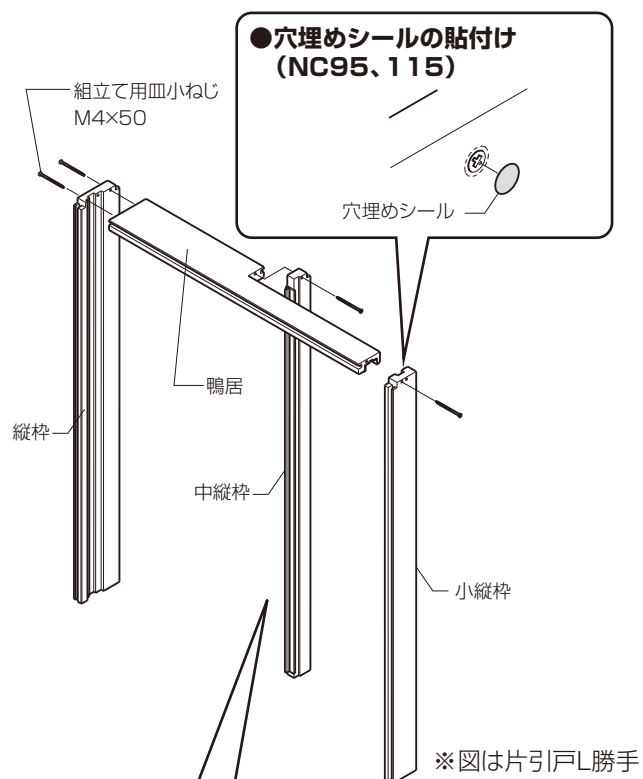
4-1 枠の組立て(片引戸)

枠の組立て上のお願ひ

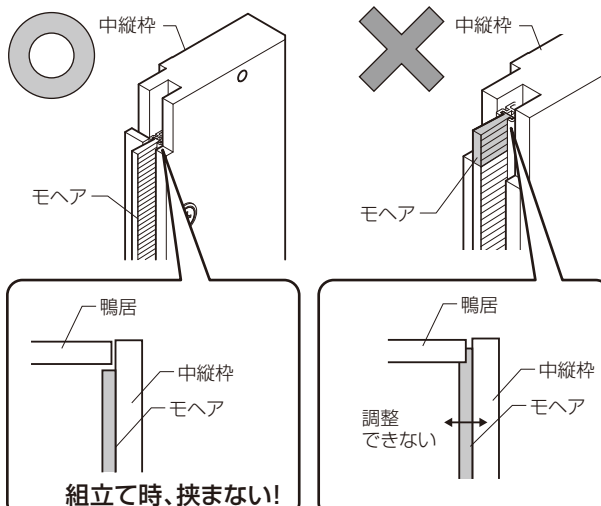
- 組立てねじは縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。組立て不良の原因になります。
- 枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。



- 下図のように同梱のねじで枠を組立てます。
- ※吊車は枠組立て前に必ず挿入してください。
- ※NC95、115は組立てねじ部に穴埋めシールを貼付けてください。



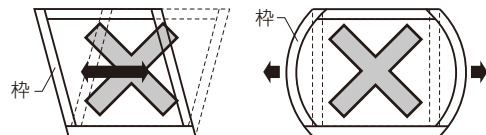
●中縦枠のモヘア



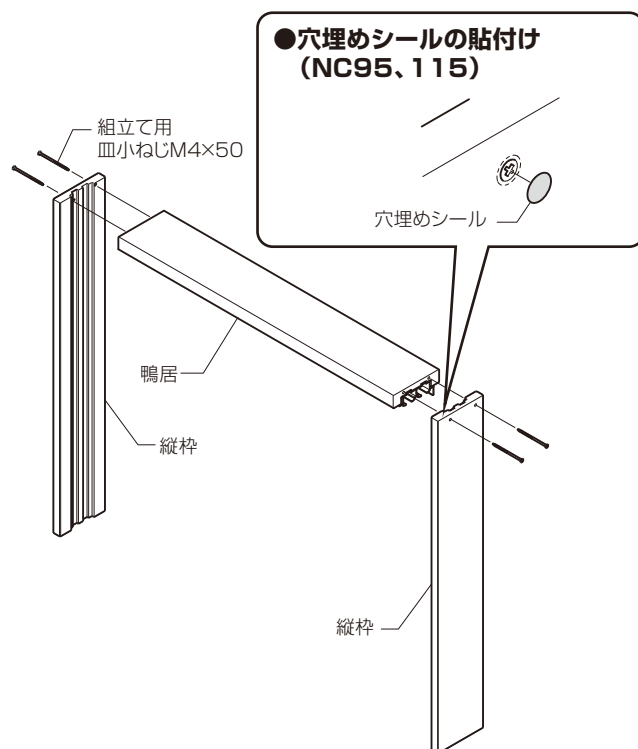
4-2 枠の組立て(引違い戸)

枠の組立て上のお願ひ

- 組立てねじは縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。組立て不良の原因になります。
- 枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。



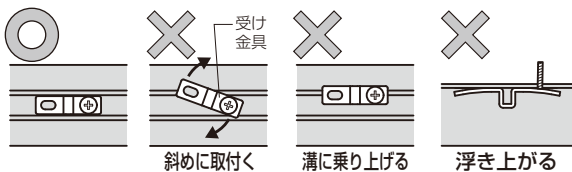
- 下図のように同梱のねじで枠を組立てます。
- ※吊車は枠組立て前に必ず挿入してください。
- ※NC95、115は組立てねじ部に穴埋めシールを貼付けてください。



目枠の取付け

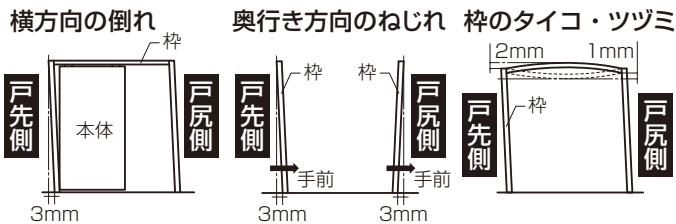
枠取付け上のお願ひ

- 枠の垂下がり・開閉不良の原因になるので下記事項をお守りください。
 - ・ コンクリートやモルタルに直付けする場合は設置面に、防水処理をしてください。
 - ・ 同梱のねじを使用してください。
 - ・ 枠は水平垂直に取付けてください。
 - ・ 枠と躯体の間のかい木は表裏に接着剤(現場手配)を塗布してねじ固定部に入れてください。
 - ・ 鴨居固定ねじは締めすぎないでください。
 - ・ ソフトモーションを機能させるため、枠固定時、吊車(ソフトモーション付)は受け金具と受け金具の間に配置してください。
 - ・ 受け金具は緩み防止のため、鴨居固定後に固定してください。
 - ・ ソフトモーション受け金具は完全に固定されるまで、鴨居レールにしっかりと固定してください。



●取付け精度について

下図の範囲内で必ず取付けしてください。



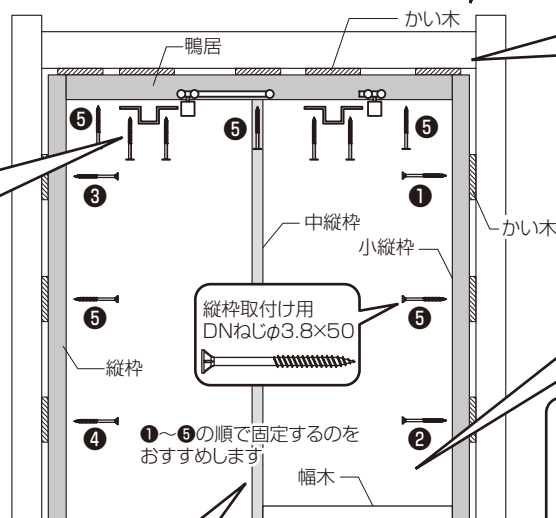
※範囲を超えると作動不良となります。

●鴨居固定ねじ

・ソフトモーション仕様

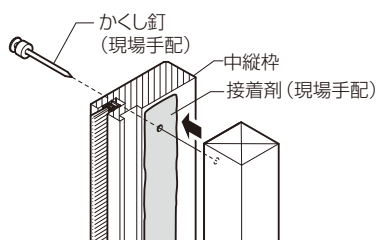


・ブレーキ仕様

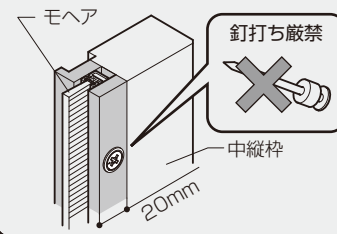


※図は片引戸L勝手

②中縦枠の固定(片引戸のみ)



●固定の注意点

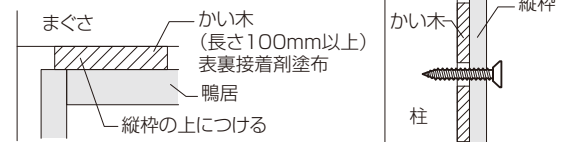


■枠の取付け

- ① 枠と躯体の間にかい木を入れて縦枠、鴨居を指定のねじで固定します。
 - ※ブレーキ仕様：鴨居戸尻側の補強板の長穴からも固定してください。
 - ソフトモーション仕様：受け金具と受け金具の間に吊車(ソフトモーション付)を配置し、受け金具を固定します。
- ② 中縦枠に接着剤※を塗布して、かくし釘※で固定します。床見切り/埋込敷居/フラット下レールの場合、中縦枠位置ラベルに合わせて中縦枠を固定してください。(部材取付けはP.6～7参照)
- ③ 幅木の裏面に接着剤※を全面塗布し、かくし釘※で固定してください。(約300mmピッチ)

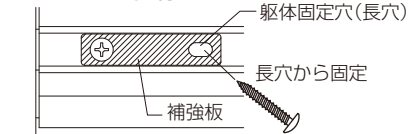
※現場手配

①かい木について



①※鴨居の部品固定について

・ブレーキ仕様

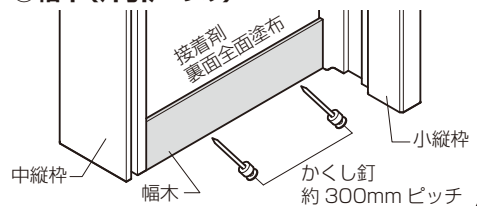


・ソフトモーション仕様

吊車(ソフトモーション付)は受け金具と受け金具の間に



③幅木(片引戸のみ)



●床見切り/埋込敷居/フラット下レールの向きと中縦枠の固定

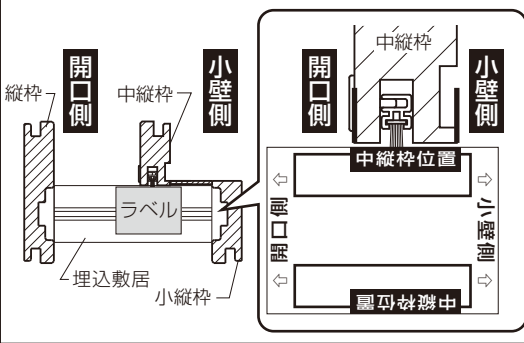
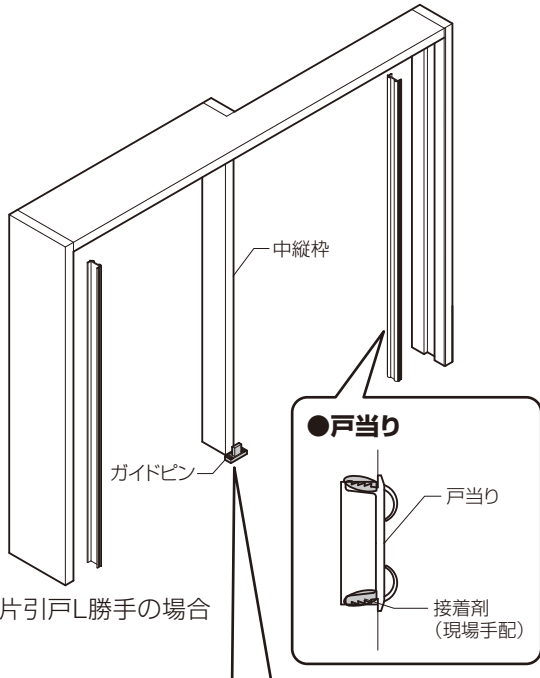


図-1 床部の施工(ガイドピン)

- ①ガイドピンを床の指定の位置に固定します。
- ②枠の寸法を実測し、戸当りを切断します。
- ③戸当りの足に木工用接着剤(現場手配)を塗布し、枠に取付けます。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)

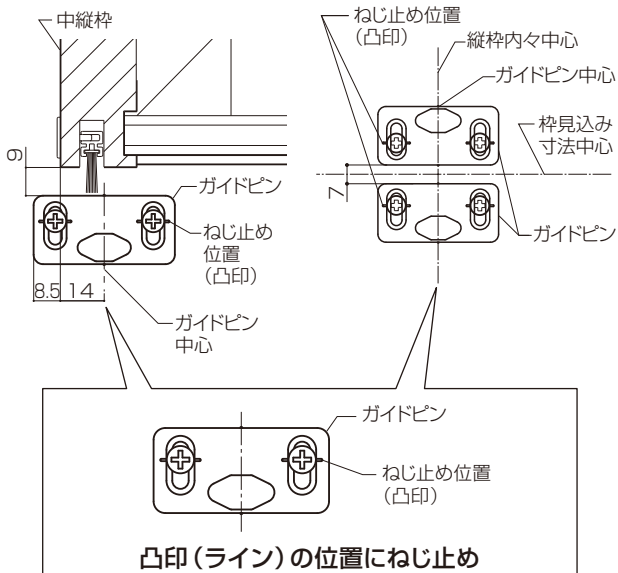


※図は片引戸L勝手の場合

●ガイドピン固定位置

片引戸(L勝手)

R勝手は本図と対称



※中縦枠取付けガイドピンを使用する場合は、中縦枠ガイドピンセットに同梱の取付け説明を参照ください。

図-2 床部の施工(床見切り)

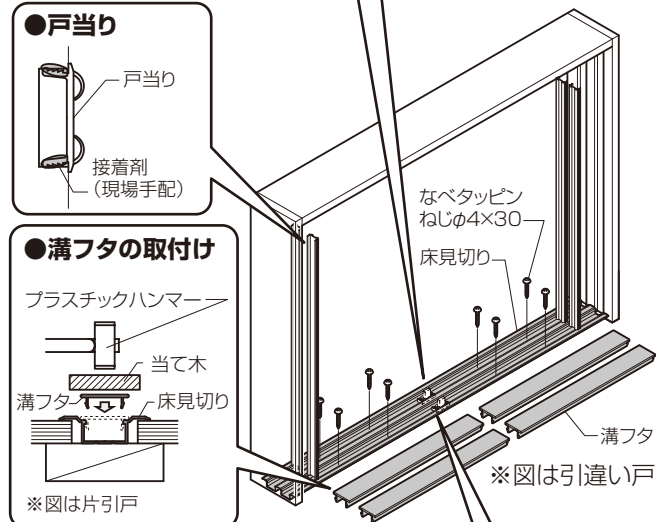
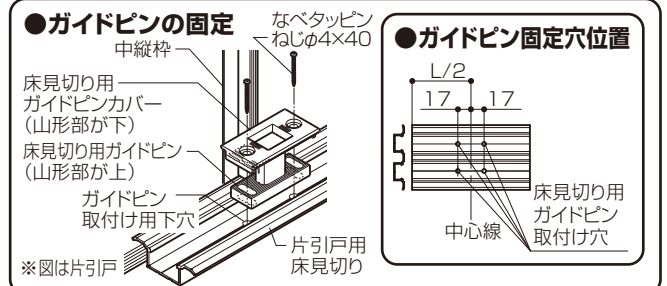
- ①戸じゃくりにピースを合わせて床見切りを配置し、固定します。
※ガイドピン固定位置をさけて固定してください。
- ※片引戸の場合：レールの向きはラベルの表示に合わせる
- ②片引戸の場合、ラベルの「中縦枠位置」に合わせて中縦枠を固定します。
- ③床見切り用ガイドピンを固定します。
- ④溝フタに当て木をし、プラスチックハンマーなどでたたき込みます。
- ⑤枠の寸法を実測し、戸当りを切断します。
- ⑥戸当りの足に木工用接着剤(現場手配)を塗布し、枠に取付けます。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)

■床見切り部品・部材明細

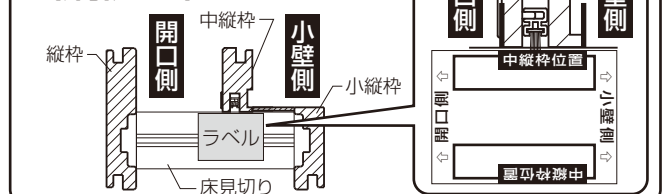
名称	片引戸	引違い戸
敷居取付け用 なべタッピンねじφ4×30	6	6

■床見切りガイドピン部品・部材明細

名称	片引戸	引違い戸
床見切り用ガイドピン	1	2
床見切り用ガイドピンカバー	1	2
取付け用 なべタッピンねじφ4×40	2	4



●床見切りの向きと中縦枠の固定 (片引戸のみ)

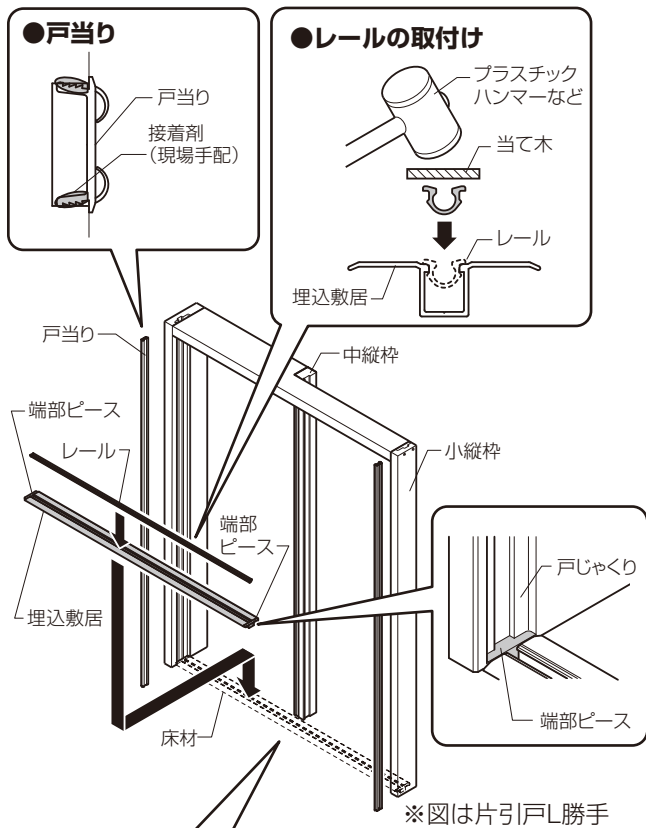


6-3 床部の施工(埋込敷居)

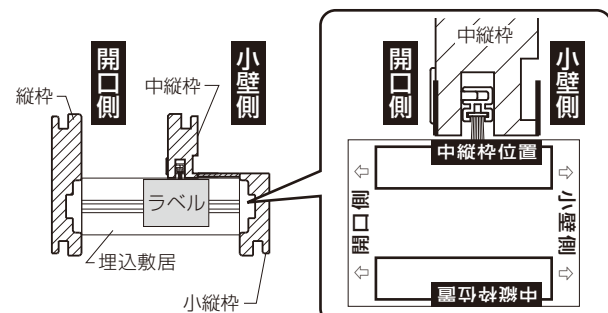
- ①戸じゃくりにピースを合わせて敷居を配置し、固定します。
※片引戸の場合：レールの向きはラベルの表示に合わせる
- ②片引戸の場合、ラベルの「中縦枠位置」に合わせて中縦枠を固定します。
- ③下レールに当て木をあててプラスチックハンマーなどでたたき込んでください。
- ④枠の寸法を実測し、戸当りを切断します。
- ⑤戸当りの足に木工用接着剤(現場手配)を塗布し、枠に取付けます。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)

■埋込敷居 部品・部材明細

名称	片引戸	引違い戸
敷居	1	1
レール	1	2
敷居取付け用 なべタッピンねじφ4×30	5	6
中縦枠下部スペーサー	使用しません	



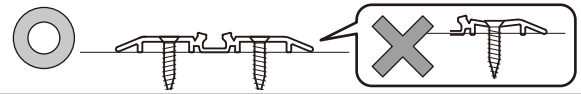
●埋込敷居の向きと中縦枠の固定(片引戸のみ)



6-4 床部の施工(フラット下レール)

フラット下レール施工上のお願い

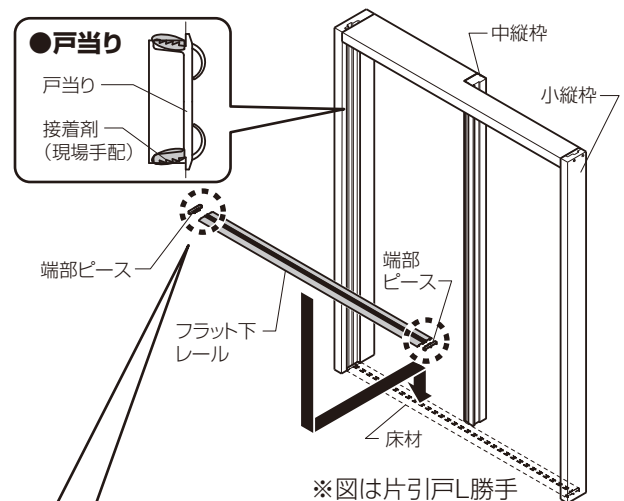
- 開閉不良になるので、固定ねじを締めすぎないでください。



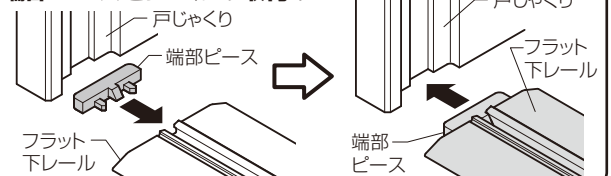
- ①端部ピースをフラット下レールの端部に差込みます。
- ②戸じゃくりにピースを合わせて敷居を配置し、固定します。
※片引戸の場合：レールの向きはラベルの表示に合わせる
- ③片引戸の場合、ラベルの「中縦枠位置」に合わせて中縦枠を固定します。
- ④枠の寸法を実測し、戸当りを切断します。
- ⑤戸当りの足に木工用接着剤(現場手配)を塗布し、枠に取付けます。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)

■フラット下レール部品・部材明細

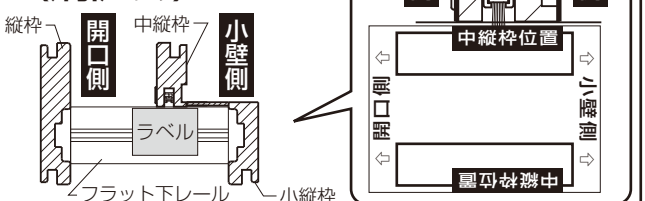
名称	片引戸	引違い戸
フラット下レール	1	1
フラット下レール取付け用 頭塗装皿タッピンねじφ4×18	14	14
フラット下レール1本引き用 端部ピース	2	—
フラット下レール2本引き用 端部ピース	—	2
中縦枠下部スペーサー	使用しません	



●端部ピースとレールの取付け



●フラット下レールの向きと中縦枠の固定(片引戸のみ)

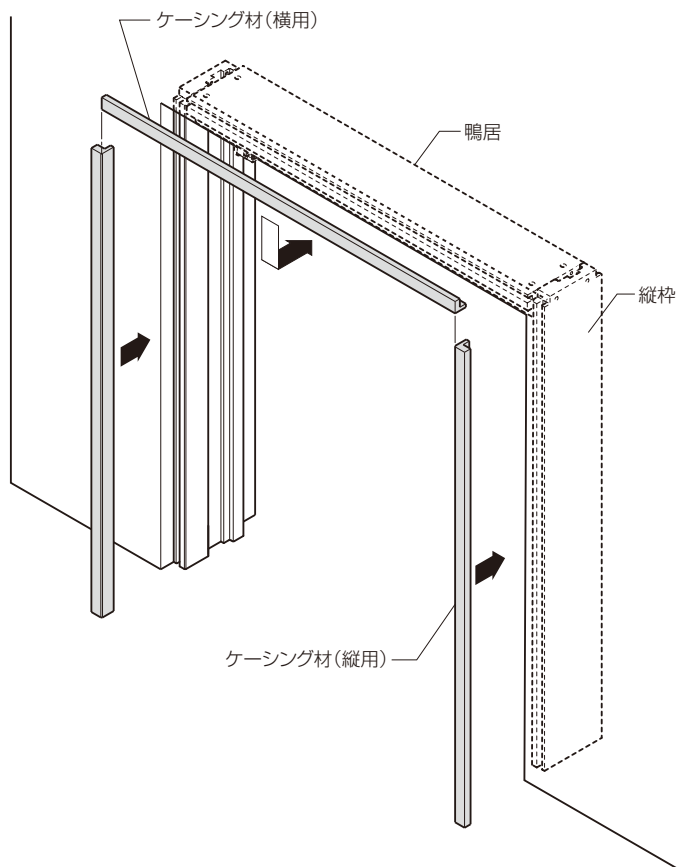


7 ケーシングの取付け

ケーシング取付け上のお願ひ

●壁材・床材を仕上げてから取付けてください。

- ①ケーシングを現場寸法に合わせて切断します。
- ②ケーシング裏面と枠のケーシング溝に接着剤(現場手配)を塗布し、固定します。
(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)



8-1 本体の吊込み(埋込敷居、フラット下レール仕様)

▲ 注 意



●吊車はレバーが下がるまで入れてください。本体が脱落しケガをするおそれがあります。



本体吊込み上のお願ひ

●開閉不具合になるのでレールの汚れ、ゴミを取り除いてください。



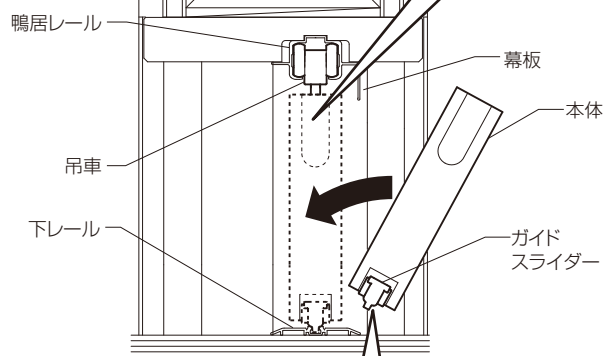
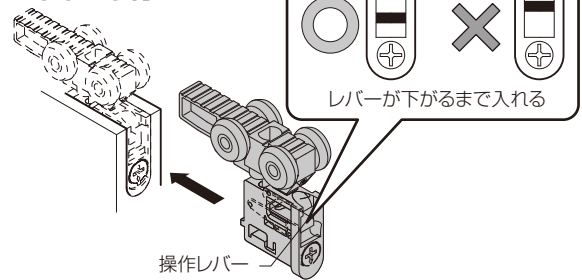
【埋込敷居の場合】

・本体下部のガイドスライダーを一旦外し、高さ調整のスペーサーを取付けてください。

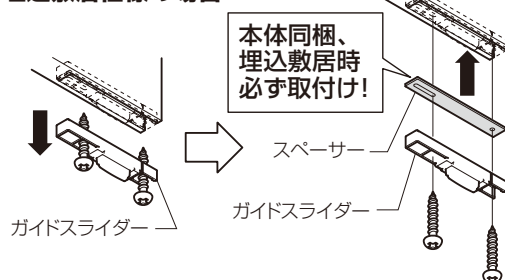
●ガイドスライダーをレールにはめ、本体を持ち上げて吊車を取付けます。

※吊車はレバーが下がるまで押込んでください。

●吊車の取付け



●埋込敷居仕様の場合



8-2 本体の吊込み(ガイドピン、床見切り仕様)

▲ 注 意

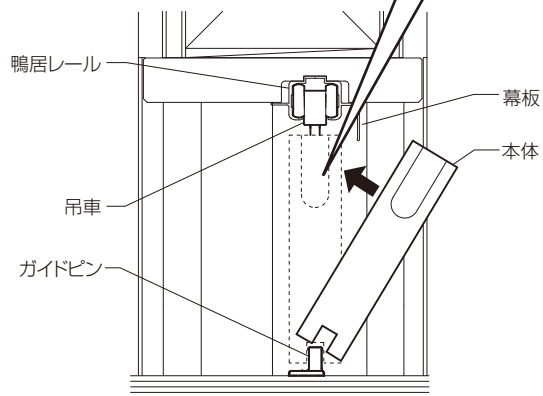
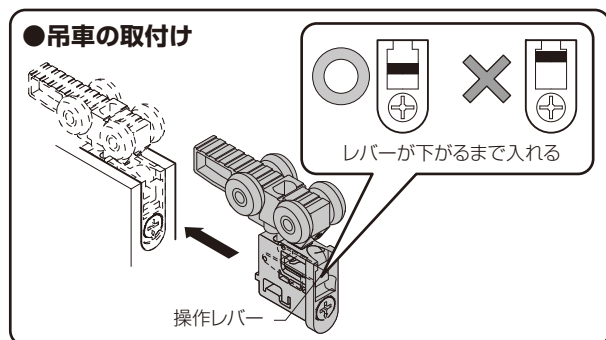


●吊車はレバーが下がるまで入れてください。本体が脱落下ケガをするおそれがあります。



- ①本体をガイドピンにはめます。
 - ②本体を持ち上げて吊車を取付けます。
- ※吊車はレバーが下がるまで押込んでください。

●吊車の取付け



9 本体への部品付け(吊込み後)

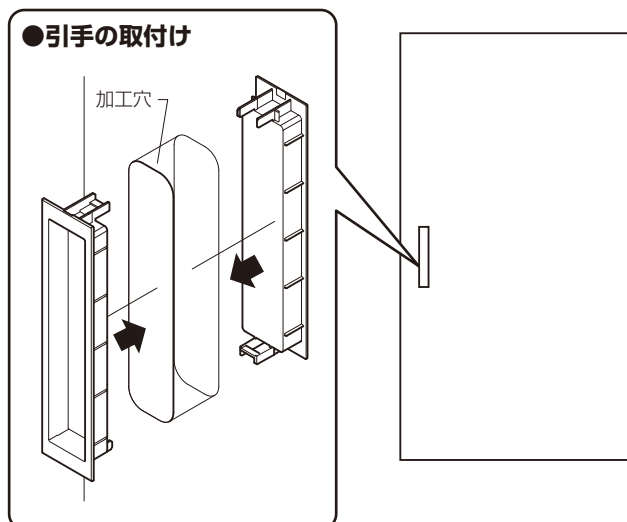
■引手の取付け

- ①仮組みされた引手を平行に引き抜いてください。
- ②引手を本体加工穴に押し込み固定してください。

■引手セット(別売り)

名称	数量
引手	2

●引手の取付け



■オプション部品(錠・バーハンドル)の取付け

各オプションの取付け説明書を参照してください。

II 本体側の調整について

本体調整上のお願い

- 本体下部のはずれや、こすれの原因となるので上下調整は範囲内で行ってください。(本体と床のすき間: 7~12mm)

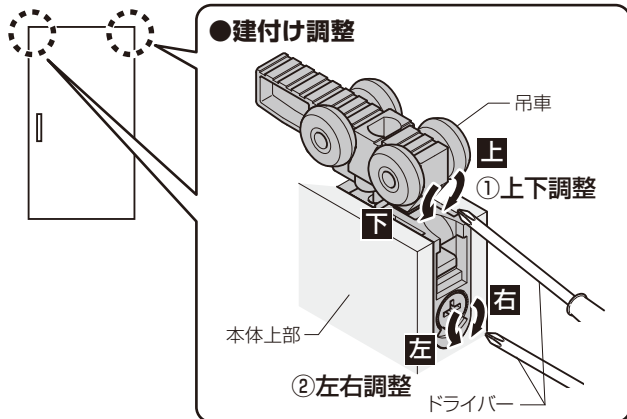
● 建付け調整について

① 上下調整 (+4mm、-1mm)

ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。

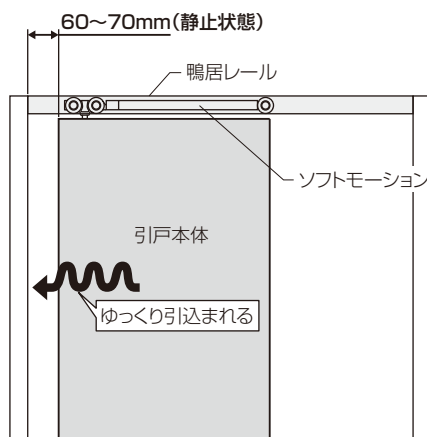
② 左右調整 (±2mm)

ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



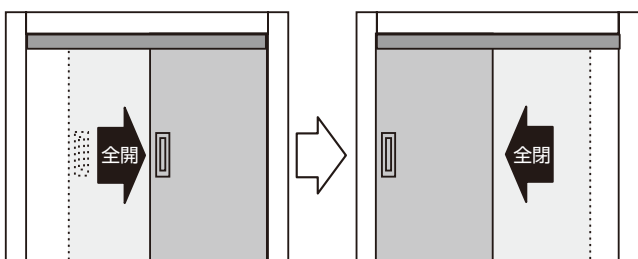
● ソフトモーションについて

- ・ 静止状態で枠から60~70mmで引き込みされます。
- ・ 開閉時は、本体重量、速度によって作動開始位置は変わります。減速して引き込まれたら正常です。



● ソフトモーションが機能しない場合 (自動復帰)

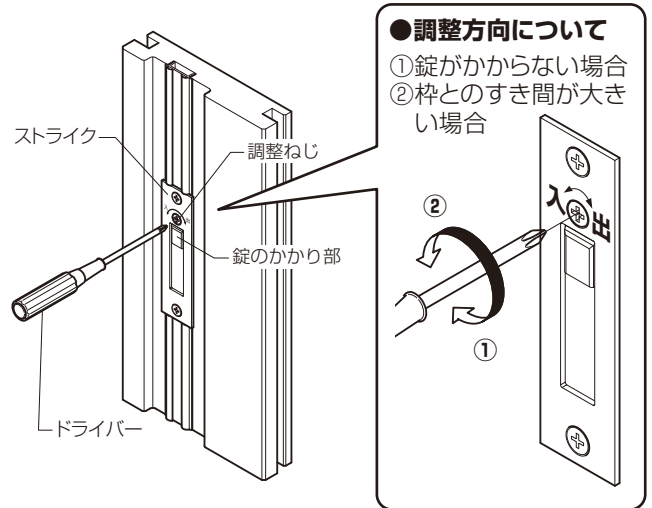
- ① 本体を全開してください。
 - ② 本体を全閉してください。
 - ③ 復帰するまで数回全開、全閉する操作をしてください。
- ※ 上記で復帰しない場合は、部品破損の可能性があります。



III 枠側の調整について

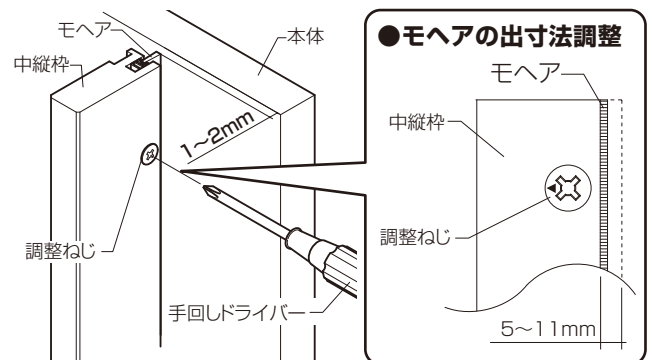
● 引戸錠のかかり調整

- ① 錠がかからない場合、右に回してください。
- ② 枠とのすき間が大きい場合、左に回してください。



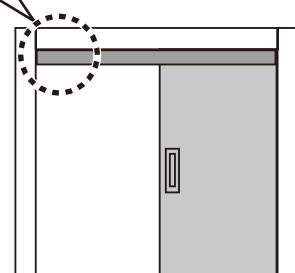
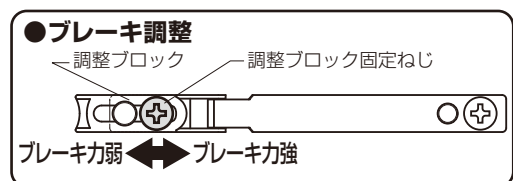
● 中縦枠のモヘア出寸法調整 (5mm ⇄ 11mm)

- ・ 3ヶ所の調整ねじを回すことで、モヘアの出寸法を調整することができます。
- ・ 本体の開閉が重くなるので、1~2mmのクリアランスを持たせてください。



● ブレーキ調整について

- ① 調整ブロック固定ねじを2回転までゆるめてください。
- ② 調整ブロックを動かして調整します。
- ③ 調整ブロック固定ねじを固定します。

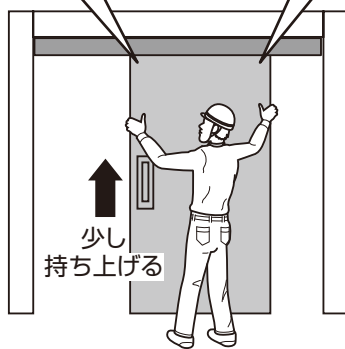
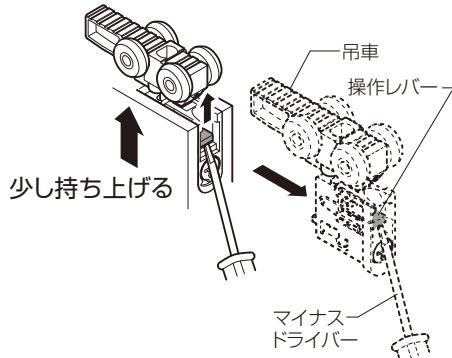


12 本体・引手の取外し方法

●本体の取外し方法

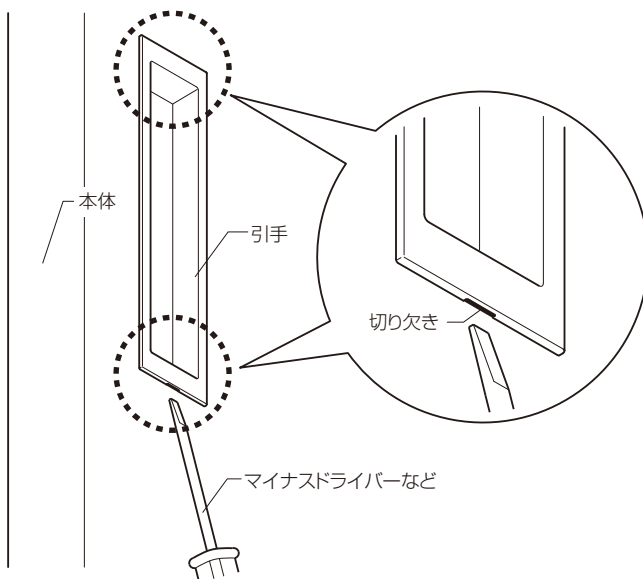
- ①本体を少し持ち上げて吊車に荷重がかからないようにしてください。
- ②操作レバーをマイナスドライバーなどで押上げながら引き抜いてください。

●吊車の取外し方法



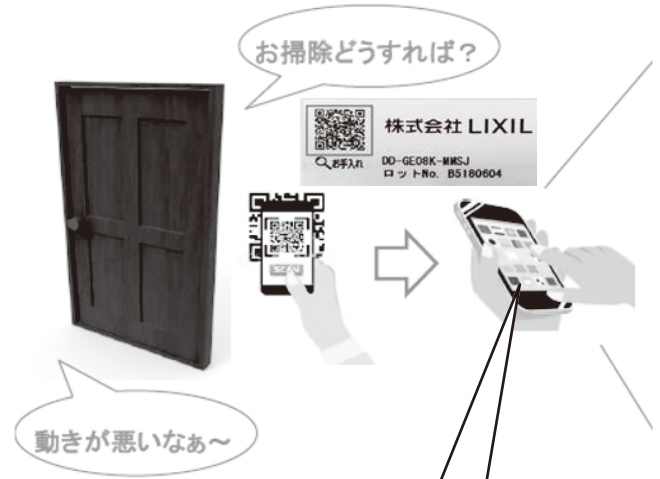
●引手の取外し方法

マイナスドライバーなどを切り欠きに入れて外してください。



13 困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



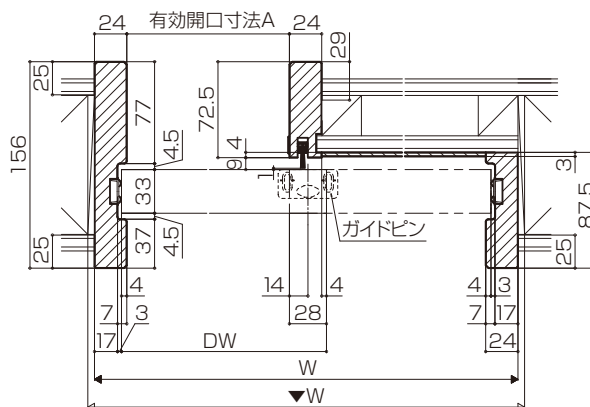
●スマホ画面

○お客さまサポート

⚠	安全にお使いいただくために	+
?	よくあるお問い合わせ	+
✓	お手入れ・お掃除	+
📖	取扱説明	+
🔧	調整方法	+
!	故障かなと思ったら	+
✂	施工説明	+
🛒	部品購入	>
☎	お問い合わせ	+
🛠	修理のご依頼	>
👤	リクシルオーナーズクラブへのご登録	>

■室内引戸上吊方式 / 可動間仕切り 引戸上吊方式 片引戸ユニット ノンケーシングタイプ

●横断面図



W呼称(梓外寸法)	A寸法
W12(1188)	556
W13(1324)	624
W14(1454)	689
W16(1644)*	784
W18(1824)	874

H呼称(桦外寸法)
H20(2023)

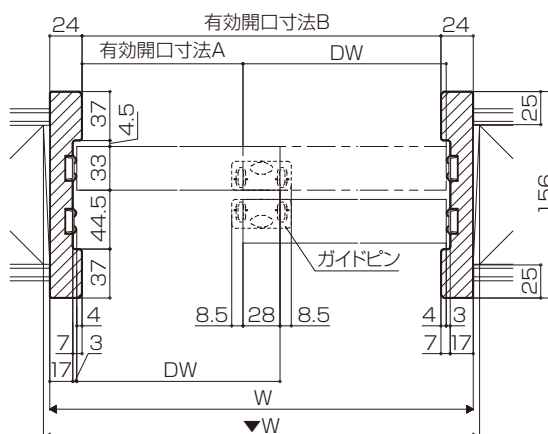
※表は規格サイズ本体(DW816)を使用した場合の寸法です。
DWが規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

[illegible]

※埋込敷居、フラット下レール使用の場合、ガイドピンは使用しません。

- ・フラット下レール使用
(可動間仕切り 引戸上吊方式)

●横断面図



W 呼称 (杵外寸法)	A 寸法	B 寸法
W16 (1644)*	784	1596
W18 (1824)	874	1776

H呼称(桡外寸法)
H20(2023)

※表は規格サイズ本体(DW816)を使用した場合の寸法です。
DWが規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

Technical drawing of a cross-section of a concrete slab with a steel reinforcement bar (縦棒) and a steel plate (FL). The drawing shows the bar embedded in the concrete, with dimensions for the bar diameter ($\phi 25$), the concrete cover (25), the bar spacing (75), and the bar diameter (40.5). The steel plate (FL) is shown on the left side of the bar.

[illegible][illegible]

※埋込敷居、フラット下レール使用の場合、ガイドピンは使用しません。

・フラット下レール使用
(可動間仕切り 引戸上吊方式)